

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター秋季号<第17号>(平成5年9月15日発行)

◇巻頭言

支部、センター発足28年を顧みて

水上 信昭 (副支部長・福岡地区代表幹事・建設)

(社)日本技術士会、並びに同九州支部、九州地方技術士センターは、夫々の総会に於いて、役員が改選されました。本部は九州出身の宮崎茂一会長(元科学技術庁長官、建設)が選任され、特に関係官庁との連帯強化が期待されるものです。原井束男支部長は、本部理事に選任されました。(「技術士」8月号参照)同支部長は、“継続は力なり。数は力なり。協調は力なり”をモットーに、新陣容の役員と共に、“魅力ある技術士会、活動する技術士会、躍進する技術士会”の実現と、会の限りなき発展を念じ、お互いに努力することを提唱されています。特に本部理事会に九州の地方の声を是非共反映させていただきたいと思います。

「温古知新」の意味で、翻って、支部、センターの28年の歩みを顧みますと、発足は昭和40年、会員数69名(支部25名、センター44名)轟謙次郎支部長、会長であります。特に同氏は、その後の15年間官庁との連帯強化を推進されています。例えば会の顧問に、国の出先機関の各局長、九州の各県知事に就任していただき、技術士業務についてPRに努められ、又(社)日本技術士会本部と連携し、「建設コンサルタント登録規定」の成立を期に技術士業務の拡大に寄与されたそうです。

その後の経過を会員数で示すと次頁の表の通りで、昭和50年69名、同54年107名、同60年133名、同63年160名で、10年毎に倍増し、イベント実施翌年の飛躍的加入が特筆されるものであります。平成5年3月現在、243名で準会員を含めると275名。センター会員は、471名で、準会員を含め587名であります。技術士会が活動し、魅力ある会になるためには、先ず財政基盤の確立が必要で、活動のための絶対数、200名の確保が出来た事は、会員皆様ひとり一人のご協力と、役員一同の献身的努力の賜であります。尚その要因を深く分析して見ますと、次の諸点が考えられます。

- (1) イベントの実施、第15回全国大会(昭和63年)。支部発足25周年記念大会(平成元年)。地方公務員と技術士との合同セミナー。(全国第7回—昭和63年)。(支部第1回~第5回)。
- (2) 支部、センターの常設委員会の設置。支部=総務、試験、事業。センター=受験対策、研修、活性化
- (3) 支部専門部会の設置。6部会(平成2年)
- (4) 「技術士だより」の発行。年4回(平成元年より。現在16号発行済)
- (5) 会員増強月間の実施。(昭和63年以降実施、現在迄会員増加 115名)
- (6) 専属の事務局、事務局長を置く。(財政的に可能となった)
- (7) 賛助会員、賛助広告の拡大実施。(収入増が図られた)

(1)のイベント実施により、組織の強化と会員動員による相互の連帯意識の強化が見られ、その後の支部活動の原動力となっている。(2)(3)の役員総延べ人員は91名で、支部、センターの頭脳的活動の原点である。 <以下次ページに>

1人でも多くの入会をお勧め下さい

<前ページよりつづく> (4)は担当委員の献身のご努力により、会員増強の強力な武器となっているもので、万人の認める所と思われます。

以上の事から推察し、支部、センターの発展のため、今後共一層の積極的行事参加と、会員増強の御協力を特にお願ひ致します。本部政策委員会では「技術士」6月号に会員増強のすすめ方として、部会、支部を中心に、各種グループ単位で、独自にすすめる事とし、例示として、九州支部の平成6年の目標を、286名と設定している。この目標に向かって、ひとり一人の汗が、一人の会員を誘うことになると、土居前支部長は、「技術士だより」に訴えられています。会員が共に汗を流す様お願ひしたいものであります。

(年度別支部会員表)

年	昭和40	42	44	46	48	50	52	54	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	2	3	4	5
期会員	25	28	41	52	61	69	83	107	122	128	125	122	133	139	145	160	170	196	216	220	243

私の提言 「各県の技術士会を窓口にする」

福岡 辰義 (長崎地区代表幹事・建設)

“技術士とは何ですか。”本誌16号川野さんの文章の一節です。そして15号笠木さんの提言「半分にして倍」を興味深く読ませて頂きました。御説のとおり、組織の強化、活性化、会員の増強について中々進展しない状況は誠にもどかしいものがあります。そして会員増強が進まない理由の一つに本部会費が高過ぎるということが言われています。それから組織としては、地方に支部を設け各県には支部の幹事を委嘱しています。九州支部では会費が高くて本部に入会しない人のために(社)日本技術士会の定款にない組織、九州地方技術士センターなるものを設立し、各県には独自の技術士会(或は技術士協会等)が組織され運営されています。いびつな格好ですがこれも生活の知恵でありましょう。そして本部会員は本部に、センター会員はセンターへ、各県の会員は各県に夫々会費を納めています。笠木さんは土質工学会や全建の会

費が気軽に払える額となっていることを指摘しておられます。ここで全建活動を参考にさせて貰うならば、各県の技術士会を(社)日本技術士会の正式の組織として会の窓口的機能を分担して貰ったらどうだろうか。(社)日本技術士会の発足当時はトップダウン的発想でやるしかなかったと思われませんが、もっと地方に自主性をもたせてやってもよいのではないのでしょうか。技術士は各県の技術士会に所属し、そこをフランチャイズにする。お互いの親近感は厚いし、否応なしに会に入会することになるのではないのでしょうか。会費は各県の窓口で納入し本部会費はそのうちから送金することにする、としたら。

現在、本部に直接納入して各支部には補助金として還元される仕組みとは全く逆になる訳であります。地方分権が盛んに叫ばれている今日、技術士会でも考えてみてはどうでしょうか。



日本技術士会近況

原井 東 男 (理事・九州支部長)

◎役員会選挙により、次期役員に決定したメンバーの初会合 (6月23日)

内容は、新役員による理事会運営をスムーズに運ぶための事前の打合せであった。

- 議題1. 次期会長の選任について
- 2. 次期副会長の指名について
- 3. 常設委員会委員長の委嘱について

事務局より素案の説明があり、日本技術士会定款第18条・第19条及び細則33条にもとづき7月7日開催予定の平成5年度第2回理事会に於て決定した旨を全員異議なく了承した。

◎平成5年度第2回理事会 (7月7日)

○審議事項

- 1. 会長選任、副会長の指名について
 - 2. 顧問の委嘱について
 - 3. 評議員の委嘱について
 - 4. 常設委員会委員長の指名について
 - 5. 常設委員会等委員の委嘱について
- 以上について審議決定事項は下記の通り。

会長 宮崎茂一 (建設)
副会長 本田尚土 (化学)

／ 副会長 泰 庄司 (中四国・機械)
" 杉田吉晴 (電気・電子)
顧問 上田 稔 (前会長・建設)
評議員 土居貞夫 (九州・衛生)
外前理事16名

常設委員長

倫理委員会 杉田吉晴 (副会長兼務)
政策 " 橋本義平 (情報処理)
事業 " 前田秀則 (衛生)
広報 " 本田尚土 (副会長兼務)
財務 " 小針輝夫 (電気・電子)
報酬 " 石 省三 (建設)
業務 " 鈴木 清 (農業)

尚、調査委員会委員に委嘱された支部会員は、テクノマート対策委員・空閑忠雄 (化学)

青年技術士懇談会委員・小川康夫 (建設)

○報告事項 (主なもの)

- 1. 定時総会 (5.6.23) の開催結果
- 2. 常設委員会の引継事項
- 3. その他

以上

◎平成5年度第1回支部長会議 (5.7.21)

○提出議題

(本音区)

- 1. 委員会委員候補者の推薦について
 - 1-(1)委員会委員について
 - 1-(2)役員選挙制度改正に関する臨時委員会委員について
- 2. 事業報告書における支部活動の取り扱いについて

(北海道支音区)

- 1. 公共事業団体と技術士会の合同セミナーについて

(東三支音区)

- 1. 会長選出の規定について
- 2. 技術士会館の構想について

(北陸支音区)

- 1. 技術士補の対策について
試験内容の改善を要望する

／ 2. 常設委員会への支部会員の参画について

- 3. 支部役員の選出方法について
- 4. 支部として海外との技術協力 (交流) 事例についてお教え願いたい

(中音区支音区)

- 1. 準会員の取り扱いについて各支部の状況をご教示願いたい

(近畿支音区)

- 1. 地公団セミナー実施方法の見直しについて、現在より効果があがる方策を検討中であるので予算配分を願いたい
- 2. 会長・理事選出方法の見直しについて
- 3. 首都圏支部設立の提案

(中四国支音区)

- 1. 新執行部の抱負をお願いしたい
- 2. 広島県庁技術士会が設立されたが対応についてご意見を伺いたい

(次ページにつづく)

（本部近況 つづき）

◎議題審議結果要約

1. 委員会委員については支部長会の意向を受け8月20日までに決めたい
2. 役員選挙制度改正は、臨時委員会を設置し次期選挙を目処に検討したい
3. 事業報告書における支部活動の取り扱いとは次期支部長会に持寄り検討する
4. 公共団体と技術士の合同セミナーは、本年度北海道・東北・北陸各支部で実施する

5. 会館設立のその後の状況については本部役員の交替に伴い具体的進展はない
6. 新執行部としての抱負は、改めてお話しすることはないが各委員会・理事会を中心に支部長会の意見を聞きながら運営して行きたいので、どしどし委員会へ提案していただきたい

今年の日韓技術士会議を10月24日より10月26日まで韓国にて開催の予定であるので参加を望む。

以上

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

👉 行事・会合などの報告

◎平成5年度第1回常任幹事会、合同役員会

日時 平成5年6月26日(土)11:00~16:00

場所 福岡商工会議所 B1会議室

議題 (1)審議事項

イ. 平成5年度事業計画行事予定について

ロ. 平成5年度常設委員会事業計画(案)について

ハ. 平成5年度地区事業計画(案)について

ニ. 常設委員会の構成について

ホ. その他

(2)報告事項

イ. 本部の動向について

ロ. 支部長会議について

ハ. その他

○平成5年度事業計画(案)

(社)日本技術士会本部及び各支部との情報交換を密にすると共に、会員相互の信頼と協調を基とし、会員の品位と実力を高め、技術士の活性化と社会的地位の向上発展を目指す

／ ことを基本方針として各事業を行う。

(1)地域の振興に密着した技術士業務の充実強化と業域の拡大に努める。

(2)会員の増強を進める。

(3)(社)日本技術士会九州支部及び九州地方技術士センターの組織及び運営の充実を図る。

(4)第6回九州地域の官公庁職員との合同セミナーを行う。

(5)九州支部と中四国支部の合同研修会を行う。

(6)会員の能力向上を目的とした実務研修会及び啓発のための各種研修会を開催する。

(7)技術部別別の部会活動について各種共催等も含め活性化を進める。

(8)企業内技術士の地位の向上、青年技術士の連帯強化を進める。

(9)地域間交流・海外交流を積極的に進める。

(10)技術士試験の実施を積極的に支援する。

(11)技術士試験の受験者を対象にした研修講座を設ける。

○常設委員会年次計画

(1)支部 総務委員会(委員長 重富秀雄)

1)会員増強運動の実施(平成5年10月~平成6年3月)

2)賛助会員、賛助広告の加入、募集運動の実施(平成5年10月~平成6年3月)

3)他委員会との連絡を密にし、協力を努める。

／ 4)“技術士だより”“会員名簿”作成の為の編集委員会を随時開催する。

5)事業委員会に協力し、沖縄県技術士会との交流を実施する。

(2)支部 試験委員会(委員長 政野光男)
平成5年度の技術士試験の日程は次のとおり決定した

(次ページにつづく)

(4)

- (支部・センター行事会合報告 つづき)
 (2)第一次、第二次試験受験案内及び説明会
 (3)熊本技術士会第4回セミナー平成5年12月
 (4)土木学会主催「土木の日」の

事業支援活動

大分地区 (代表幹事 今村欽一)

- (1)大分県の振興に密着した技術士業務の充実強化と業務の拡大に努める。
 (2)技術士PRの目的をもって、年2回(8月と1月)大分合同新聞による広告の掲載を行う。
 (3)大分県産業振興課や大分県工業団体連合会、大分大学工学部等による実務研修会等に積極的に参加して、能力の向上を図る。
 (4)技術士会、九州支部及び九州地方技術士センターの主催による、研修会や見学会に積極的に参加する。
 (5)技術士試験(一次二次)の受験申込等に積極的に支援する。
 (6)会員の増強を積極的に進める。
 (7)企業内技術士の地位の向上、青年技術士の連帯強化を進める。
 (8)地域間交流、海外交流に積極的に参加し、技術交流を図る。
 (9)熊本技術センターとの協議及び技術交流を図る。
 (10)大分大学工学部及び大分工業高専校との産学交流の実施

佐賀地区 (代表幹事 向井治孝)

- (1)技術士の受験促進のPR
 第一次、第二次試験受験説明会

- ／ (2)関係機関への会員増強活動
 (3)他協会との講演会、研修会の共同主催及び講演会、研修会への積極的参加
 (4)新合格者の祝賀会及び総会
宮崎地区 (代表幹事 新城精一)
 (1)会員相互の交流、懇親を深める。
 (懇親会、ゴルフコンペを年2回開催)
 (2)会員増強の積極的な取り組み
 (3)支部主催行事への積極的な参加
 (合同セミナーH5.11.5等)
 (4)技術士、技術士補願書記布説明会の実施
 (H6.3.12、H5.4.15)
 (5)技術士受験講習会の開催(H5.5.15)
 (6)「宮崎市都市景観賞」後援(H5.10.14)
 (7)「土木の日」共催(H5.11.8)

鹿児島地区 (代表幹事 上野光夫)

- (1)技術士会本部及び支部の事業活動に協力する。
 (2)技術士試験の試験対策に協力する。
 (3)会員名簿の作成及び配布
 (4)青年部会の活動を積極的に行う。
 (5)研修懇親会の充実を図る。

福岡地区 (代表幹事 水上信照)

- (1)会員増強を第一目標として取り組む。
 (2)支部主催の行事に積極的に参加する。
 (3)YCE福岡集会は隔月実施する。
 (4)第6回九州地域の官公庁職員と
 合同セミナー(11月5日福岡サンパレス)
 (テーマ「九州の地域振興・活性化に
 果たす行政と技術士の役割」)
 開催致しますので会員の格別のご協力をお願いします。

◎九州支部常設委員会名簿

平成5年6月26日

委員会名	担当・副支部長名	委員長名	委員名
総務委員会	水上 信照 (福 建)	長 重富 秀雄(福 建) 副 棚町 修一(福 建) 小松 栄一(北 経)	北原 徳雄(北 化) 今村 欽一(大 島) 向井 治孝(佐 建) 新城 精一(宮 建) 福岡 辰義(長 建) 上野 光夫(鹿 建) 林 博昭(熊 建)
試験委員会	〃	長 政野 光男(福 建) 副 是石 俊文(福 建)	川越 俊政(福 建) 前田 剛志(福 建) 斎藤 健雄(福 建) 小川 康夫(福 建) 黒川 邦夫(福 建) 諸藤 元信(福 建)
事業委員会	青山 次則 (熊 建)	長 笠木 直行(福 建) 副 三原 節夫(福 水)	江畑 賢一(北 応) 児玉源一郎(大 建) 蒲生 文夫(佐 建) 臼井 士郎(宮 建) 長濱 伸也(長 応) 黒岩 郁夫(鹿 建) 淵田 精三(熊 建)

◎九州地方技術士センター常設委員会名簿

平成5年6月26日

委員会名	担当副会長名	委員長名	委員名
受験対策委員会	矢野 友厚 (福 健)	長 久保田信一(福 健) 副 尾中 健一(福 健)	第二次試験受験者 研修講座担当講師
研修委員会	”	長 町田 貞徳(福 電) 副 加来 英器(熊 健)	入江 大(北 健) 川野 宏平(伏 良) 久保 周吉(佐 健) 井川 仁(宮 健) 芳賀三千億(長 健) 福田 博(鹿 健)
活性化委員会	新城 精一 (宮 健)	長 斎藤 清美(福 衛) 副 真鍋 和義(福 水)	大村 力(北 電) 八鹿 昭祝(伏 健) 藤永 正弘(佐 健) 西田 靖(宮 健) 柏原公二郎(長 衛) 郡山 匡良(鹿 良) 吉田 絃彬(熊 衛)

第6回九州地域の官公庁職員と技術士との
合同セミナーへのお誘い

- ◇主催：(社)日本技術士会九州支部
九州地方技術士センター
- ◇後援：通商産業省九州通商産業局
(予定) 建設省九州地方建設局
運輸省第4港湾建設局
福岡県・福岡市
(社)九州山口経済連合会
(社)建設コンサルタント協会
- ◇開催担当：(社)日本技術士会九州支部
福岡地区部会
1. 日時：平成5年11月5日(金)
～11月6日(土)
2. 場所：福岡サンパレス パレスルーム
福岡市博多区築港本町2番1号
TEL 092-272-1123
3. 大会：平成5年11月5日(金)
【主題】九州の地域振興・活性化に果たす
行政と技術士の役割
4. 懇親会 平成5年11月5日(金)
17:20～20:00
5. 見学会 平成5年11月6日(土)
9:00～12:00
6. 懇親ゴルフコンペ 筑紫ヶ丘C.C
平成5年11月6日(土)9:00～15:00
- ／ 〈セミナー〉 平成5年11月5日(金)
10:00～15:10
- (I) 演題未定 福岡市土木局長
(II) ” 福岡県土木部次長
(III) ” 建設省九州地方建設局
(IV) ” 通商産業省
九州通商産業局(予定)
- (V)技術士の役割 九州支部
《特別講演》 平成5年11月5日(金)
15:25～16:55
(I)演題未定 (社)九州山口経済連合会
長友泰明先生

☞ 支部・センター委員会・部会だより

- ◇ 郷・総務委員会(重富委員長)
- (1)平成5年度第1回合同役員会(常任幹事会)
日時 平成5年6月29日(土)11:00～16:00
場所 福岡商工会議所 B1
- (2)総務委員会
日時 平成5年10月2日(土)13:00～16:00
場所 博多第一ホテル
- (3)第20回技術士全国大会(中部支部)
日時 平成5年10月13日9:00～17:30
場所 清水市日本平ホテル
- (4)第2回常任幹事会
日時 平成5年10月30日(土)13:00～16:00
- (5)第6回官公庁職員との合同セミナー
日時 平成5年11月5日(金)
場所 福岡サンパレス (次ページにつづく)
- (7)

- (支部・センター委員会・部会だより つづき) / 日時 平成5年8月7日(土)13:00~15:00
場所 博多第一ホテル
- ◇ 婦・試験委員会(政野委員長) (3)平成5年度技術士第二次試験筆記試験の結果を報告いたします。(下表)
(4)平成5年度技術士第一次試験
日時 平成5年10月10日
場所 九州大学工学部
- (1)第1回試験委員会
日時 平成5年6月25日(金)17:00~19:00
場所 サンライフホテルI
- (2)第2回試験委員会 /

福岡会場九大工学部

月/日	技術部門	申込者(A)	午前	午後(B)	受験率(B/A)
8月25日	建設	917	486	431	51.03 %
8月26日	建設以外	456	292	284	62.23 %
計		1,373	778	715	52.07 %

◇ 婦・事業委員会(笠木委員長) / ☞ 部会報告

- (1)九州支部と中四国支部との合同研修会
日時 平成5年7月16~17日
場所 研修会場せとうち苑
見学会 新広島空港、西部丘陵都市
(12ページ参照)
- ☆第2部会技術研修見学会
日時 平成5年10月1日(金)
午後2時から
場所 佐賀県武雄市西川登町大字神六地先
矢筈ダム管理所および現地ダムサイト
(最寄駅等: JR佐世保線武雄温泉駅
から約1.2Km
長崎自動車道武雄北方インター
から1.5Km)
内容 町づくりに貢献するダム建設の講演と
見学及び懇親宴会と温泉・窯元の散策
視点: ①景観対策: 我が国初の堤体に描く
大壁画
②住民対策: 町民活用を図る多目的
広場の設置
③宿泊宴会: 楼門をくぐる武雄温泉
での懇親会及び温泉ぶ
らり見て歩き、窯元め
ぐり
- (2)第1回西日本技術士研究業績発表大会
日時 平成5年7月24日(土)9:00~17:00
場所 京都リサーチパーク
(京都市下京区中堂寺南町17)
(13ページ参照)

◇ センター・受験対策委員会
(久保田委員長)

- 平成5年度第二次受験対策総合講座
日時 平成5年6月12日(土)9:00~17:00
前期添削結果をもとに(個人別指導)
平成5年6月13日(日)9:00~17:00
模擬試験(試験場での筆記要領指導)
日時 平成5年7月24日(土)9:00~17:00
主要問題予想と直前対策
経験論文の仕上げ個人別指導
場所 福岡商工会議所
受講者90名 講師35名 /
- 会費 見学会無料, 宿泊費各自負担,
宴会費按分徴収
- ※第2部会以外の方の参加も歓迎
※参加を希望される方は、9月20日までに
事務局にご連絡下さい。

◇第2部会・第4部会合同技術研修見学会

日時：平成5年7月20日(火)13:30~15:30

場所：福岡市西区大字拾六町1191番地
福岡市環境局西部清掃工場

参加者：川崎部会長ほか35名

内容：近代的最新焼却炉の見学
最近のゴミ問題と新鋭工場の現況
(10ページ参照)

◇第2部会会議

日時：平成5年7月20日(火)

場所：福岡市環境局西部清掃工場

出席者：川崎部会長以下24名

議題1. 幹事選任下記の通り部会長より委嘱

福岡北九州地区 今西 肇、諸藤 元信
久保田 信一、江畑 賢一

佐賀長崎地区 柏原 公二郎

大分宮崎地区 日野 健次

熊本鹿児島地区 平嶋 孝

議題2. 部会運営他についての意見等
会員アンケートを実施する

◇第6部会総会・幹事会

日時：平成5年7月28日(水)13:30~15:00

場所：博多第一ホテル

出席者：芳賀部会長以下4名(委任状8名)

議題：

(1) 前期活動状況報告

九州工業技術試験所(H.4.1.23)

日産自動車九州工場(H.5.1.22)

(H.5.2.12)

(2) 役員選出

部会長 芳賀 三千億

幹事 甲斐 章人 柏木 克己

柴田 秀夫 小松 栄一

(3) 活性化のための各人の意見

イ. 開催地(福岡県周辺偏重の是正)

ロ. 相互研修(部会員の輪番制による実績
Report発表)

ハ. 横断的な行事(中西国支部会員との共催)

ニ. センター会員もオガサの形で呼びかける

ホ. 活動資金のStockの工夫(スポンサー、
事業化、本部の補助)

ヘ. 日程(1泊2日で工場見学と工場観光セット)

ト. 遠隔地会員に対する部会からの費用負担
のありようの検討工夫

チ. 従来通り九州支部他部会との共催 以上

◇第5部会総会

日時：平成5年7月24日(土)13:30~15:00

場所：博多第一ホテル

出席者：岡部部会長ほか4名(委任状15名)

協議検討項目：

(1) 完戸幹事より平成3年9月当時の安澤部会
長がまとめられた第5部会の検討事項につ
いて説明報告。

(2) 現時点における第5部会としての独自の活
動方針は決めにくい。

(3) 他の部会の計画される観察とか講演会等に
努めて参加する。

(4) まず会員の増強に各自各部門において最善
の努力を行う。

(5) 他の部会の計画される事業に努めて参加す
る。

◇第1部会総会

日時：平成5年8月7日(土)13:30~15:30

場所：博多第一ホテル

出席者：山谷部会長ほか9名

議事：

(1) 部会長・幹事・事務局 各役員の設定

部会長 山谷 三郎 機械 福岡

幹事 久保田英士 " 長崎

田中 正人 " 福岡

森下 明憲 電気電子 福岡

武田 秀雄 船舶 長崎

事務局 町田 貞徳 電気電子 福岡

(2) 第1部会、第3部会は部会活動を従来通り
合同にて開催運営することとした。

(第3部会長了解)

(3) 平成5年度部会活動計画について

イ. 研究発表、自己業績、技術展望等の発表
会を年2回(9月と平成6年4月)、
工場・事業所見学会を年2回(9月と平
成6年2月)実施することとする。

ロ. 研究発表、自己業績、技術展望等の発表
会は発表者数を増加し、1人40分程度、
4~5名(160~200分)とする案の検討
をする。

ハ. 同上発表予定候補(自己、他者推選含む)

① 合志正夫(電気電子) 中水道の自動運
転制御とビル排水浄化の計装技術

② 小林良一(機械) 原子力発電の現状と
将来展望について

<次ページにつづく>

③笹原敬史（機械） 原子力高圧バルブについて

④霜鳥一三（金属） IC製造技術について

(4)工場・事業所見学会候補

イ.福岡エネルギーサービス

ロ.西部電機工業㈱

ハ.玄海原子力発電所、大分又は唐津発電所、

イ5開催日 土曜日の案も出たが本年度は、木又は金曜のウイークデーとする。

発表会開催時刻：13:00～16:30（3.5H）

(6) (1)～(5)の協議事項は山谷部会長にて、江崎親敬第3部会長との調整事項とする。

以上

<委員会・部会だより一部会報告おわり>

行事レポート ◇ 福岡地区青壮実年技術士交流会

小川 康夫（福岡・建設）

平成5年7月14日「葱や」にて福岡地区常任幹事5名、YCE福岡会員8名

○ YCEの今後のあり方について

常任幹事の方から、「YCEを福岡地区に特定せず、九州全域に拡大し、支部の機関として認知する方法もあるが……」との、ありがたいアドバイスがあり、ザックバラんな意見交換をさせて頂いた。

- ・他地区でも青壮年のつどいがあるようだ。
- ・年齢層をもっと広げてみたらどうだ。
- ・予算的なバックアップも考えられる。

など、常任幹事の方々からありがたいアドバイスを頂いたが、YCEの会員からは、

- ・YCEがスタートしてまだ1年半で、YCE福岡そのものがヨチヨチ歩きの状況である。
- ・福岡地区の運営で手一杯の状況であり、今の状況では、かえって他地区の方々に迷惑をかけてしまうのではないか。

などの意見が多く、当面は現在の福岡地区をベースに、他地区からの参加（北九州、佐賀、長崎、熊本、大分からの参加あり）も大いに歓迎するとともに、各地区でのつどいの連携を進めさせて頂き、もう少し足腰が強くなるように、各地区の方々にご協力をお願い致します。

○ 交流会でのつどい話（雑談）

・下水道を担当しているYCE会員から、分流式の下水のはずなのに、雨が降ると下水量が3倍くらいになり困っているとの話に対して、大先輩から、その話は20年程前にもあり、調査した資料があるはずだがとアドバイス有り。

・最年少のYCE会員から、技術士会はもっと一般の方々に対するPRをしたらどうでしょうかとの提案があり、大分県技術士会の新聞広告を参考に検討しようとの事になった。

など、年代を越えた交流の花が咲き、非常に有意義な会になった。 以上

行事レポート ◇ 福岡市西部清掃工場を見学して

三原 節夫（第4部会長・福岡・水道）

7月20日、福岡市で最新鋭の西部清掃工場見学会を、第2部会、第4部会の合同で実施した。参加者は川崎第2部会長ほか35人であった。

この西部清掃工場は、西区拾六町、生の松原ゴルフ場の南側丘陵地にあり、14万3千平方メートルの広大な敷地は公園の様に整備され、大きな建物も周辺の環境とマッチして今迄のごみ焼却場のイメージとはかけ離れた施設であった。

まず玄関前には余熱を利用した大きな熱帯樹の温室があり、案内された広い会議室ではスクリーンと暗幕が自動的にセットされたり、又、PR用の模型等もスマートで工夫が凝らされていた。この施設は3回建て替えられており、30年前にあった最初のごみ焼却場（私も見学したことがある）の煙や臭気、汚い場

<次ページにつづく>

所とは想像もつかない変わり様であった。処理能力は24時間稼働で、1日750t、250tのストーカ一炉3基。建物は地上5階～地下2階で、特に煙突はこれまでの焼却場に見られないデザインで印象に残った。高性能焼却炉等の集中コントロール、収集車の効率的な流れ、排ガスの徹底した管理に加え、蒸気コンデンサーを設ける等、余熱の有効利用や、工業塩を回収して硝子の原料に利用する等、目新しい技術に接することが出来て、有意義な見学会であった。

以上

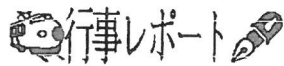


九州における技術士に係わる登録者数

平成4年12月調べ

部門 \ 県	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	計
機械	39	1	4	2	0	0	0	46
船舶	1	0	2	1	0	0	0	4
航空宇宙	0	0	0	0	0	0	0	0
電気電子	33	1	1	2	1	4	3	45
化学	5	0	0	0	0	0	0	5
繊維	2	1	0	0	0	1	0	4
金属	14	0	0	0	0	0	0	14
資源工学	17	0	2	0	0	0	0	19
建設	307	14	22	16	26	25	28	438
水道	62	0	1	2	4	3	3	75
衛生工学	23	1	1	1	1	1	0	28
農業	36	3	5	20	9	7	12	92
林業	5	3	0	7	0	4	1	20
水産	0	0	2	0	1	1	2	6
経営工学	17	0	4	3	1	0	2	27
情報処理	5	0	0	0	0	0	0	5
応用理学	64	1	8	7	3	0	5	88
生物工学	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	630	25	52	61	46	46	56	916

注：沖縄県 30名、全国 27,044名



行事レポート ◇九州支部・中四国支部合同例会に出席して

町田 貞徳（研修委員長・福岡・電気・電子）

平成5年7月16日に九州支部と中四国支部技術士合同例会が広島市で行われた。この合同例会は、お互いの交流と情報交換を行う目的で、1年交替で中四国支部と九州支部が開催し、今回で21年間続いている行事である。

今回の出席者は九州支部から7名（原井文部長・空閑忠雄・川崎迪一・久保田信一・江畑賢一・町田貞徳・古賀事務局長の各氏）、中四国支部から68名の合計75名に、講師をして頂いた方々とその関係者等で、非常に充実した会合と懇親会の楽しいひとときであった。

スケジュールは16日が講演会と懇親会で、講演の演題は、1. 広島市開発局参事の川村好孝氏の「広島西部丘陵都市建設について」

2. 広島港工事事務所所長村出繁氏の「国際交流と空港・港湾」 3. 広島工業大学教授門田繁氏の「広島都市圏の整備状況と今後の展望」で、それぞれ、専門家向けの講演であることを意識した高度の技術内容であり、充実した講演会であった。

講演内容の要約は次の通りである。

1. 広島市は、面積740km²で人口109万人の政令都市であるが、今後の都市拡大の基本構想として、市中心部から北西5～10kmに広がる丘陵地帯4,570haに人口10万人の文化都市「総合自立都市」を建設しようとする中で、実際に建設が進められている。ここには、公認の競技場が4つ出来ており、広島アジア競技大会が平成6年10月にこの新都市の「広島広域公園」で開催されることに決定し、この時のアジア及び日本全国から集まる選手の為に宿舎建設が急ピッチで進められている。更に、これらの宿舎はアジア競技大会が終わったら、分譲住宅として改装され一般に販売されると云うことで、将来の自立都市としての計画が良く立案されていると感じられた。

2. 国際交流と空港・港湾の講演では、現在建設中の広島新空港を中心に広島圏の交通網の説明であった。新広島空港は本年10月29日に開港予定で、現在急ピッチで仕上げ工事が行われている。滑走路は2,500mの国際空港として計画し、将来3,000mに伸ばせるよう

地も確保済みである。取付け道路等は完成しており、駐車場等の付帯設備の仕上げ工事が行われている。

3. 広島都市圏の整備状況と今後の展望講演では、アメニティ都市としての今後の都市の在り方、都市計画を行う技術者への基本的設計基準等を数値で示され、広島市の地形に基づいた道路配置・衛星都市・交通網等の構想計画等の説明があった。

懇親会は中国・四国地方の技術士諸氏が多数参加され、九州で会合を開催した時に見える馴染みの顔も沢山おられ、楽しいひとときであった。更に2次会へと発展し、広島市の夜のネオン街で思う存分蛮声を張り上げて憂さをはらすと共に明日への英気を養い、また、中四国の皆様にお世話になった。

翌17日は見学会で、講演のあった新広島空港と広島西部丘陵都市の見学であった。

新広島空港は広島市の東約30kmの山岳地帯を削っての空港造成で、切土盛土量は500万m³最高盛土高さは125m最大級の土木工事であったそうで、見学当日はあいにく雨となり、霧がかかり、全貌は見渡せなかったが、展望台からの景観を眺め、滑走路全周を案内され、総合的計画の解説を頂いた。空港の周りにはサイクリング道路が1周しており、ゴルフ場も建設中で、かつ、国際ホテルも完成間近で国・県・市・産一体となった大事業を見学させて貰った。

次に、広島西部丘陵都市の見学をした。4,570haの広大な面積の中に住む・働く・学ぶ・憩うの都市を建設中で、かつ、アジア競技大会を睨んだ全天候型競技場等を設置し、大会終了後を考慮した施策を肌で感じた次第である。

以上九州・中四国支部合同研修会の報告ですが、隣同志の技術士として相互親善と相互向上のためには素晴らしい会合であり、21年間続いたことは故無しとしない、と言える。次回の来年は九州側の担当になるので、それなりに準備をして、楽しく且つ有意義な会合を持ちたいものである。 以上

行事レポート 第1回西日本技術士研究・業績発表年次大会

小松 栄一（北九州・経営工学）

- ◎主催：(株)日本技術士会近畿支部
企業内技術士委員会
- ◎協賛：(株)日本技術士会中部・北陸・中四国・九州各支部、京都技術士会、兵庫県技術士会、大阪技術振興協会
- ◎企画：先端技術研究会、地域間交流研究会、近畿支部青年技術士懇談会、近畿支部情報処理部会(PEAK-IT)
- ◎日時：平成5年7月24日(金)9:00~17:00
- ◎場所：京都市下京区 京都リサーチパーク
- ◎参加者：75名。(うち九州支部3名。－原井支部長、斎藤、小松)

午前の部は、藍企業内技術士委員長の開催の辞に始まり、次の発表があった。

1. 地下水問題 北陸支部 松田源次郎
2. 農業集落排水設備と下水道
近畿支部 三木 透
3. 下水処理技術 " 中野 一郎
4. 砂防技術 四国支部 二宮 寿男
5. 近自然河川工法 " 福留 脩文
6. デジタルマッピング手法の地盤解析への
応用 中国支部 福田 直三
7. 自動車製造業におけるCAD
中国支部 中川 秀一
8. 分散型CAEシステム
近畿支部 好川 哲人
9. 自然環境復元の理論と技術課題
近畿支部 栗本 修滋
10. ゴルフ場開発と環境安全対策
九州支部 斎藤 清美

昼食後、会場となった京都ハイテクパークの見学があった。新しい都市型の研究開発拠点として、産・学・官の協力によって作られた、先端技術の粋を集めたというさまざまな研究施設や会議場などを見学した。説明して頂いた若い技術士の方の「バブル時代の産物かな・・・」という言葉が耳に残った。

午後の部は、森川近畿支部長の挨拶に始まったが、この中で、今回の催しは熱心な若手のグループの熱意と努力で実現

したことから、九州支部の発表(斎藤先生)のゴルフ場と農業についての話は非常に興味深かったなど話された。

次いで、「最高裁鑑定人登録制度の説明」が本部の横山先生から、資料に従ってかなり専門的な話しがあった。

その後、フォーラムに移り、まず(1)「国際化と日本技術士会対応(PE/CE)」と題して、高城重厚先生(本部渉外委員会、企業内技術士委員会)が話された。世界各国での技術者資格呼称の例など、OHPで多くのデータを使って詳しく説明された。次いで、(2)「技術士と国際化」を近畿支部の臼井義美先生からお話があった。私が本日のメインテーマと考えていた、(3)「パネルディスカッション：グローバル化と技術士」が、予定時間をオーバーして熱心に論議された。

その中で、私なりに特に脳裏に残ったことがらを次に若干記してみます。

○米国は多くの人種が集まっているから、手続・資格が透明化。国際化には是非必要。

○個人として社会に貢献するアウトプットを出していくべきだ。

○グループで本を出版した時に活性化した。

○多分野の交流が国際化につながる。

○PE(専業)で、なおかつCEに。

その他、九州支部でもいつも話題になるところが同様に多くあったと思います。以上



矢野 友厚(センター副会長・福岡・建設)

はしがき

平成5年4月下旬、3泊4日の社員旅行で未知の国、中国華南を訪ねた。日本人のルーツの一つでもあり、漢字が通用する国、それでも意味は全く違う場合もある。花子といえ

ば、昔なら大変可愛い少女を連想するが、この国では乞食という表現である。1人当りの必要経費は約13万円でこれに小遣いが必要である。

○ 旅行先と日本やソ連との経済比較

比較項目	中国	香港	日本	旧ソ連
人口	約12億人	約600万人	1億2,300万人	2億8,300万人
国民総生産	3,600億ドル	700億ドル	2兆6,000億ドル	1.9~2.5兆ドル
1人当りGNP	300ドル	11,600ドル	21,000ドル	約7,500ドル
国防費	66億ドル	軍隊なし	300億ドル	1,200億ドル

・上表でみるとGNPでは、日本：中国は70：1、日本：香港は2：1、中国：香港は1：39 となっている。

中国から香港へ流れ込む難民の多い理由が判る気がする。また、物価が日本に較べて極めて安いので、ぜいたく品を除き全般に極端に貧乏とは感じられない。

中国の社会・生活

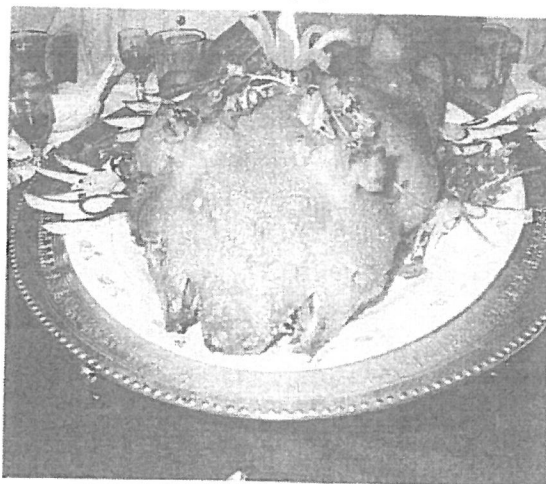
○ 中国料理

従前の知識では、中国料理の4大代表は、北京料理、長江料理、四川料理、広東料理と心得ていたが、所変われば品変わるの諺どおり、一般に「東酸、西辛、南甘、北塩」といわれ、東方は酸っぱく、北は塩辛い傾向が強い。

吾々が旅行した華南は、どちらかといえば薄味で今一歩物足りない。但し料理の卓に醤油を入れた皿があり、味の修正は勝手である。

広東地区は品数も多く、4ツ足(牛馬豚等)の主材料のほか、机や椅子以外は何でも飯台にのぼるそうである。ガイドの説明によれば値段の高い中国料理の材料には、蛇、蜂、ネズミ、猫等あらゆる動物が使われるそうで、日本ではゲテ物に属する材料が入っているから、値の張るものは敬遠した方がよいとのこと。

子豚の丸焼き



日本人の旅行者で、食後そのおいしさに惚れて材料の追求をしたため、聞いた途端食ったものをすべて吐き出してしまう人は数知れずとのこと、知らぬが仏か。

○ 鳩と中国

日本の神社や鉄道の駅では鳩が人なつっこく集まってくるが、中国では絶対に見かけない。鳩は平和の使者という日本人の思想を超えて「何故日本人はあんな旨いものを放置しているのか」と反問される。日本の鳩よ！お前らは中国に生まれなくてよかったなあ……。

<以下次号につづく 乞う!!ご期待>



会員ニュース



☆社日本技術士会(九州支部)入会 以下敬称略

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
長崎	正領	平野 巖	建設	〒850 長崎市高丘2-5-4
宮崎	"	伊藤 明	"	〒889 宮崎県宮崎郡清武町大字今泉丙-16 2614-6 クリスタル ハイナムラタ405号
"	"	芳川 孝生	水道	〒880 宮崎市西池町12-62 ダイアパレス西池102号
"	"	黒木 英浩	経営工学	〒884 宮崎県児湯郡高鍋町北高鍋4588
鹿児島	"	安楽 寅男	農業	〒890 鹿児島市鴨池新町27-2-709
福岡	"	村田 義郎	建設	〒818-01 福岡県太宰府市南9-33 グレースピラ302
熊本	"	田口 保彦	農業	〒862 熊本市大江1-13-10
鹿児島	"	太田 頼敏	"	〒890 鹿児島市下伊敷町1972-197-6
"	"	四反田 勝久	水産	〒890 鹿児島市中央町9-1
大分	"	村谷 俊雄	化学	〒870-02 大分市大字宮河内4095
福岡	"	佐々木 安治	水道	〒819-16 福岡県糸島郡二丈町大字深江1270
"	正領	曾根 好則	建設	〒814 福岡市早良区荒江3-32-2セジュール香里103号
"	"	岩田 真人	生物工学	〒838 福岡県甘木市大字小田1080-1

☆社日本技術士会(九州支部)退会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)
福岡	正領	檜原 昭雄	建設	福岡	正領	浦 憲治	建設
長崎	"	加藤 邦雄	応用理学	"	"	尾崎 光義	"
福岡	"	西山 隆	建設	熊本	"	野崎 能啓	"

☆九州地方技術士センター入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
北九州	正領	小長 龍吉	経営工学	〒811-41 福岡県宗像市自由ヶ丘3-2-14
鹿児島	"	福島 正三	建設	〒892 鹿児島市上竜尾町34-13
福岡	"	足立 俊一	"	〒811-34 福岡県宗像市日の里8-15-3
"	"	坂田 隆博	"	〒811-11 福岡市早良区早良7-25-4
"	"	河野 裕俊	農業	〒830 福岡県久留米市西町325-7
"	"	松尾 眞治	建設	〒818 福岡県筑紫野市筑紫駅前通り2-174
"	"	金光 英雄	"	〒814-01 福岡市早良区野芥6-46-18
"	"	堤 八重子	"	〒816 福岡市博多区東那珂1-15-55-302
熊本	"	山内 悦郎	農業	〒861-41 熊本市高江町1223-14
鹿児島	"	前田 一彦	建設	〒899-22 鹿児島県日置郡東市来町伊作田627-1

☆九州地方技術士センター退会

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)
福岡	正領	西山 隆	建設
宮崎	"	小坂 晃	"
福岡	正領	松永 創	"
佐賀	"	那須 修一	"
中四国	"	松久 芳朗	"

-以上 受付順-

★投稿を募る★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願いします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。

(200字詰め原稿用紙2~3枚程度を目安に、支部事務局宛にご送付下さい。)

☆会員勤務先(住所)および連絡先変更

1. 長田 晴道 (建設)
連絡先 〒811-32 福岡県宗像郡福留町
光陽台6-7-13
2. 渡邊 勝己 (応用理学)
連絡先 〒820 飯塚市藤田567-1
3. 榎原 昭雄 (建設)
勤務先 〒810 福岡市中央区大名
2-4-30 西鉄赤坂ビル10F
(株)植村組福岡支店 TEL (092)711-0784
4. 清水 富夫 (機械)
連絡先 〒844 長崎県諫早市上町10-4

5. 飯星 次男 (電気電子)
連絡先 〒862 熊本市水前寺
4-19-37
レジデンス水前寺201
勤務先 〒862 熊本市出水1-7-6
ダイダン(株) TEL (096)364-7137
6. 石井 良雄 (農業)
勤務先 〒870 大分市大字奥田645-3
西日本設計測量(株) TEL (0975)43-1818
7. 五所 直久 (林業)
連絡先 〒860 熊本市上熊本
1-9-43-1002
8. 勇 秀忠 (建設)
勤務先 〒863 熊本県本渡市港町8-5
共栄建設(株) TEL (0969)23-1188
FAX (0969)23-7945

◇会誌”技術士”最近号の主要目次

☆6月臨時増刊号

- ・研究・業績特集
各分野における技術士活動の最近の成果

☆7月号

- ・提言 技術士って何ですか/伊藤 健
- ・私の技術士業務
駆け出し技術士、奔走中/長嶋 洋一
- ・研修のページ
情報と発想 /三田村 宏

☆8月号

- ・技術士全国大会へのご案内
- ・提言 編集の現場から /中江 利昭
- ・私の技術士業務
国際協力の現場から /清水 建二
- ・研修のページ
技術力の向上と技術開発/廣川 一男

☆9月号

- ・提言
日本と韓国の技術士 /青葉 堯
- ・私の技術士業務
コンピュータ使用、ケーブルサイズの
簡便実用決定法 /泉 直衛
- ・研修のページ
技術力の向上と技術開発(2)/廣川 一男

9. 眞鍋 和義 (水道)
勤務先 〒811-02 福岡市東区塩浜3-2500
(和白下水処理場内)
福岡市下水道局水質試験所
TEL (092)607-7001
FAX (092)607-7002

—受付順、敬称略—<会員ニュースおわり>

 編集後言己 

- ・新政権誕生。国民の期待を担って登場の細川さん、リーダーシップを発揮願いたい。
- ・技術士会も宮崎新会長登場、科学技術庁の先輩でもあり、江田長官に大いにPRして戴きたいところ。技術士個々人も自助努力第一に、一層の活性化を進めたいもの。
- ・梅雨明けが取消されるなど、異常な冷夏も終わり、あとは景気回復を待つのみ。(小)

発行：(株)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区人名1丁目
12-61 新天ビル402
☎(092)771-9534
編集：九州支部・総務委員会